



本プレスキットの内容は、ドイツ国内市場向け(2009年9月現在)の仕様を基準として記載されており、その他の市場においては仕様、標準装備品、オプション設定などが異なる場合もあります。本プレスキットでは、車体寸法、エンジン出力などはBMW AG発表のデータとなるため、日本仕様とは異なる場合があります。なお、仕様は随時変更される可能性がありますので予めご了承ください。

1. 概要	2
2. 自然に沸き上がるドライビング・プレジャー BMW X1 (ショート・バージョン)	6
3. コンセプト:プレミアム・コンパクト・セグメントで 今までにないタイプのクルマ	15
4. デザイン:様々なスポーツ・シーンに対応する 多様性と自信に満ちた優雅さ	17
5. ドライビング・エクスペリエンス: 人を惹きつけずにおかない俊敏性	20
6. ドライブトレイン: より大きなパワー、さらなる多様性、 より高い効率性	23
7. ボディおよび安全性: 最新の機能性と信頼性の高い保護性能	27
8. 装備およびアクセサリー: 更なるドライビング・プレジャーを演出	30
9. 生産:統合型製造方式により、 最高の品質と柔軟性を確保	34



1. 概要

- 俊敏性、多様性、モダンなキャラクター。BMW X1 は、プレミアム・コンパクト・セグメントに新たな走りをもたらします。このクルマの導入により、BMW X モデルはさらに新しい、革新的な車両コンセプトを提供します。
- BMW X1 のボディ・デザインは、自信に満ちた優雅さ、多様性、スポーティなキャラクター、湧き上がるような俊敏な走りを表現しています。典型的な BMW X モデルの特徴とキャラクターを新たな解釈で具現化したこのニュー・モデルが、初めてプレミアム・コンパクト・セグメントに登場しました。
- BMW X1 のインテリアは、明瞭な機能性と時代をリードするモダンなスタイルを特徴としています。前へ前へと志向するようなコックピットのラインによって、BMW 特有のドライバー志向のコンセプトがさらに強調されています。高品質の素材と自然な色合いのインテリアは、若々しくダイナミックな雰囲気を高めます。
- 高く設定されたシート・ポジション、開放感のある広々としたスペース、多彩な収納機能、様々に利用可能な室内は、都市部でも、さらに足を伸ばして郊外へ出かけても、BMW X1 の俊敏で湧き上がるような爽快な走りと、多彩な能力にとって理想的な条件を提供します。後席にはフル・サイズの 3 人がけシートが装備され、広々とした環境と身動き自由なスペースを提供します。リア・シートのバックレストは角度調節が可能で、40:20:40 の割合で折りたたむこともできます。ラゲージ・ルームの容量は、420 リッターから最大 1,350 リッターまで拡張できます。また、オプションで電動パノラマ・ガラス・サンルーフも用意しています。
- 最新のドライブトレイン・テクノロジーの採用により、BMW X1 は卓越した走行性能と高い効率性を提供します。モデル・バリエーションに応じて、パワフルで経済的、しかも優れた排出ガス特性のガソリン・エンジンおよびディーゼル・エンジンを選び、さらにインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive や、ブレーキ・エネルギー回生システム、オート・スタート・ストップ機能、ギアシフト・ポイント・インジケーターなどの BMW エフィシエント・ダイナミクスに関する装備を選択することができます。とりわけ後輪駆動の BMW X1 sDrive18d の効率性は突出しており、EU テスト・サイクルでの平均燃料

消費量は 100 km 走行あたり 5.2 リッター、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 136 g となっています。

- BMW X1 には最先端のサスペンション・テクノロジーを採用し、フロントにリーディング・リンク付きダブルジョイント・スプリング・ストラット・アクスルあるいはアルミ製ダブルジョイント・スプリング・ストラット・アクスルを、リアには軽量スチール製の分離型ダブル・ウイッシュボーン式 5 リンク・アクスルを採用。さらにきわめて正確なパワー・ステアリング、高性能ブレーキ・システム、ダイナミック・トラクション・コントロール付きダイナミック・スタビリティ・コントロールを装備します。また、オプション装備の四輪駆動システム xDrive には、各種のコントロール・ユニットをネットワーク化したパフォーマンス・コントロールも用意しています。
- BMW X1 のボディ構造は、最高レベルの乗員保護性能を目指したものです。すべてのシートに 3 点式 ELR シートベルトを標準装備し、フロント・エアバッグ、サイド・エアバッグおよび側面のヘッド・エアバッグ、アダプティブ・ブレーキ・ライト、デイ・ランニング・ライトも標準装備です。キセノン・ヘッドライト、アダプティブ・コーナリング・ライト、ハイビーム・アシスタントはオプションです。
- BMW X1 では、ビジネス・ナビゲーション・システムまたはプロフェッショナル・ナビゲーション・システムがオプション設定されています。また新世代の操作システム BMW iDrive は、センター・コンソールに配置されたコントローラーとダイレクト選択ボタン、ダッシュボードに調和するコントロール・ディスプレイ、標準装備のエア・コンディショナー操作パネル下に配置されたプログラマブル・ボタンを使用して操作します。標準装備のオーディオ・システムに代えて高性能 HiFi システムを選ぶこともできます。標準装備の外部入力端子のほか、USB インターフェースを追加することもできます。さらに、多彩なドライバー・アシスタント・システムや BMW コネクテッド・ドライブのサービスも提供します。
- エンジン・バリエーション:**
BMW X1 xDrive28i:
マグネシウム-アルミニウム複合材料製クランクケース、バルブトロニック、ダブル VANOS を装備した直列 6 気筒ガソリン・エンジン、
排気量: 2,996 cc、最高出力: 190 kW(258 ps)/6,600 rpm、
最大トルク: 310 Nm/2,600~3,000 rpm、0~100 km/h 加速: 6.8 秒、
最高速度: 205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合)

合:230 km/h)、

EU テスト・サイクルでの平均燃費:9.4 リッター／100 km、

EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:219 g/km、排出ガス規制:EU5

BMW X1 xDrive23d:

オール・アルミ製クランクケース、BMW ツインパワー・ターボ、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションを装備した 4 気筒ディーゼル・エンジン、

排気量:1,995 cc、最高出力: 150 kW(204 ps)/4,400 rpm、

最大トルク:400 Nm/2,000～2,250 rpm、

0～100 km/h 加速:7.3 秒、

最高速度:205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合:223 km/h)、

EU テスト・サイクルでの平均燃費:6.4 リッター／100 km、

EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:167 g/km、排出ガス規制:EU5

BMW X1 xDrive20d:

オール・アルミ製クランクケース、可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションを装備した 4 気筒ディーゼル・エンジン、

排気量:1,995 cc、最高出力:130 kW(177 ps)/4,000 rpm、

最大トルク:350 Nm/1,750～3,000 rpm、0～100 km/h 加速:8.4 秒、

最高速度:205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合:213 km/h)、

EU テスト・サイクルでの平均燃費:5.8 リッター／100 km、

EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:153 g/km、排出ガス規制:EU5

BMW X1 sDrive20d:

オール・アルミ製クランクケース、可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションを装備した 4 気筒ディーゼル・エンジン、

排気量:1,995 cc、最高出力:130 kW(177 ps)/4,000 rpm、

最大トルク:350 Nm/1,750～3,000 rpm、0～100 km/h 加速:8.1 秒、

最高速度:205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合:218 km/h)、

EU テスト・サイクルでの平均燃費:5.3 リッター／100 km、

EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:139 g/km、排出ガス規制:EU5

BMW X1 xDrive18d:

オール・アルミ製クランクケース、可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションを装備した 4 気筒ディーゼル・エンジン、

排気量:1,995 cc、最高出力:105 kW(143 ps)/4,000 rpm、

最大トルク:320 Nm/1,750～2,500 rpm、0～100 km/h 加速:10.1 秒、
最高速度:195 km/h、
EU テスト・サイクルでの平均燃費:5.7 リッター／100 km、
EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:150 g/km、排出ガス規制:EU5

BMW X1 sDrive18d:

オール・アルミ製クランクケース、可変インテーク・ジオメトリー式ターボ・
チャージャー、コモン・レール・ダイレクト・インジェクションを装備した 4 気
筒ディーゼル・エンジン、
排気量:1,995 cc、最高出力:105 kW(143ps)/4,000 rpm、
最大トルク:320 Nm/1,750～2,500 rpm、0～100 km/h 加速:9.6 秒、
最高速度:200 km/h、
EU テスト・サイクルでの平均燃費:5.2 リッター／100 km、
EU テスト・サイクルでの CO₂ 排出量:136 g/km、排出ガス規制:EU5

2. 自然に沸き上がる ドライビング・プレジャー BMW X1 (ショート・バージョン)



ドイツを代表するプレミアム・カー・メーカーであるBMWは、BMW X1の導入によって、コンパクト・セグメントに新たな基準を確立します。最も市場規模の大きなカテゴリーのプレミアム・セグメントに、初めてBMW X モデルが登場します。BMW X1は、BMW X モデルのあらゆる特徴を保有しつつ、新しいスタイルで、BMW ならではの駆けぬける歓びを表現しています。多くのモデルを取り揃えたBMW X モデルの最新モデルは、自信に満ちた優雅さとモダンなスタイルを特徴しながら、様々なスポーツ・シーンに対応する多様性、卓越した俊敏性を提供します。また、若々しくスポーティなデザインのインテリアは、多彩な機能と柔軟性に富んだ使い勝手のよさを提供します。BMW X1には、スポーツ・アクティビティ・ビークルの典型的な特徴と、BMW 1 シリーズに匹敵する走り、運動性能、卓越した燃費と排出ガス特性を融合した一台です。

インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive などの卓越したドライブトレイン・テクノロジーは、BMW X1 に多様で素晴らしい走りをもたらします。高めのシート・ポジションとドライバー志向に配置されたコックピットが、わくわくするようなドライブの楽しみをサポートします。高品質な素材、印象的な表面仕上げ、そしてオプションのナビゲーション・システムと組み合わされた iDrive 操作システムが、このクルマのプレミアムなキャラクターを強調しています。広々とした後席には、大人3人分のフル・サイズ・シートを装備しています。3分割されたバックレストは個々に角度調節が可能で、しかもバックレストを完全に折りたたむとラゲージ・ルーム容量を 420 リッターから 1,350 リッターまで増やすことができます。数多く用意された収納スペースや小物入れが機能性を高め、オプションのパノラマ・ガラス・サンルーフを装備すれば、室内はさらに広々とした印象になります。

BMW X1 は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおけるドライビング・プレジャーの新たな基準を確立します。BMW エフィシエント・ダイナミクスによる恩恵を受け、このクルマの走行性能と燃費は現在のところ競合車の中で最も優れたバランスを示しています。搭載するパワー・ユニットは、1 種類の 6 気筒ガソリン・エンジンと 3 種類の 4 気筒ディーゼル・エンジンから選ぶことができます。BMW X1 xDrive28i はマグネシウム-アルミニウム複合材料製クランクケース、バルブトロニック、ダブル VANOS を装備した直列 6 気筒エンジンを搭載し、出力 190 kW(258 ps)を発生します。BMW X1 xDrive23d は、出力 150 kW(204 ps)を発生する BMW ツインパワー・ターボおよびコモン・レール・ダイレクト・インジェクション装備のディーゼル・エンジンを搭載します。いずれも、6 速オートマチック・トランスミッションを標準装備しています。BMW X1 xDrive20d に搭載される出力 130 kW(177 ps)のディーゼル・エンジンと BMW X1 xDrive18d に搭載される出力 105 kW(143 ps)のディーゼル・エンジンは、コモン・レール・ダイレク

ト・インジェクションおよび可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーを装備しています。これらのエンジンは、後輪駆動モデルの BMW X1 sDrive20d および BMW X1 sDrive18d にも搭載されており、この両モデルは 6 速マニュアル・トランスミッションを標準装備しています。BMW X1 sDrive18d の EU テスト・サイクルにおける平均燃費は、100 km 走行あたりわずか 5.2 リッターで、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 136 g をマークし、このセグメントにおける最も効率性の高いモデルとなっています。もちろん、すべてのエンジンが EU5 排出ガス規制をクリアしています。

デザイン：様々なスポーツ・シーンに対応する多様性、自信に満ちた優雅さ

BMW X1 の走りは、卓越した俊敏性と様々なスポーツ・シーンに対応する多様性を特徴としています。これらの特徴は、ボディ・デザインを見ただけでも理解することができます。印象的な造形の長いエンジン・フード、直立した BMW キドニー・グリル、大きく張り出したホイール・ハウス、ショート・オーバー・ハング、ロング・ホイール・ベース、入念に造形されたリア・エンド、傾斜が強くフラットなリア・ウインドウなどが、このクルマを特徴付けています。フロントからサイドを通りリア・エンドまで、ボディの各部はくっきりとしたラインによって継ぎ目なく流れ るような一体感を表しています。伸びやかなプロポーションからは、スポーティ・エレガンスと呼びたくなるほどの美しさと、優れた機能性を感じ取ることができます。

全長 4.45 m のこの 5 ドア・モデルは、どの角度から見ても BMW の X モデルであることがわかります。ほとんど四角形に近い形状のホイール・ハウス、高い地上高、シルバーのアンダー・ガードに、このクルマの頑丈さが現れています。BMW X1 は、空力特性も非常に優れており、特に BMW X1 sDrive20d、BMW X1 xDrive18d、BMW X1 sDrive18d の 3 モデルの空気抵抗係数は、Cd 0.32 という数値を達成しています。

フロント・エンドは、力強いバンパーと切れ目なく一体化された BMW キドニー・グリルによって、存在感を強調するデザインとなっています。外側に張り出したホイール・ハウス、印象的な造形のエンジン・フード、エンジン・フードの上をキドニー・グリルまで伸びるくっきりとしたラインが、BMW X1 の外観にさらに力強さを加えています。BMW の特徴である片側 2 灯式の丸型ヘッドライトは上部がマスクされており、幅の広さを強調するランプの配列と組み合わされて、その印象をさらに強調しています。ヘッドライトの周辺部は 3 次元的な造形となっており、その輪郭を際立たせています。大型のエア・インテークの下に配置されたシルバーのアンダー・ガードは、このクルマが BMW X モデルの一員であることを物語っています。

BMW X1 のサイド・ビューでは、3 つの独特的なラインが印象的です。ドア・オープナーと同じ高さをリアへと向かう力強く上昇するショルダー・ラインと、リアへ向けてわずかに上昇するドアシル・ラインの組み合わせは、ダイナミックなウエッジ・シェイプを構成します。2 つのラインの間に位置するキャラクター・ラインは、フロ

ント・ドアのところでまず下降し、わずかに上昇しながらリア・ホイール・ハウスの直前でダイナミックに上昇してサイド・ビューに特別なアクセントを与えています。このキャラクター・ラインの向かう先には、BMW特有の造形的特徴である「ホフマイスター・キンク」があり、キャラクター・ラインとウインドウを視覚的に一体化させ、BMW X1に俊敏でコンパクトな印象を与えています。

入念に造形されたリア・エンドの幅の広さを強調しているのが、力強いホイール・ハウスと水平のライン、わずかに丸みを帯びながら互いにつながっているような印象の面構成です。これとは対象的に、ブランドの特徴である L 形のテール・ライトは、シャープなラインによる新たな造形を施しています。リア・エンドにもシルバーのアンダー・ガードが装着され、BMW X モデルの特徴である頑丈なキャラクターを強調しています。

オプション設定されている X ラインを装着すると、BMW X1 の外観をさらに印象的に仕上げることができます。X ラインは、ボディ同色のフロント・バンパーとリア・バンパーに追加されたシルバー塗装のインサート、同じくシルバー塗装のサイド・シル、ロワー・エア・インテークを水平に分割するクロス・バーで構成されています。オプション設定されているルーフ・レールは、X ラインとの組合せで艶消しブラックあるいはアルマイト処理されたシルバーのいずれかを選べます。

インテリア・デザイン：高品質、現代的、機能的、開放的

面積の広いトリム・パネルとダイナミックなラインが、BMW X1 のインテリアにスポーティで若々しい印象を与えてています。ダッシュボードは水平のラインによって分割されてドア・トリムへとつながっています。このデザイン構成は、幅の広さを強調し、室内をより広々と感じさせます。オプションの iDrive 操作システムで使用するコントロール・ディスプレイも、今までにないスタイルでダッシュボードに調和するように一体化されています。

BMW X モデルの特徴である高いシート・ポジションは、乗り降りが快適にでき、交通状況を確認しやすくなります。コックピットを取り囲むようなセンター・コンソールとダッシュボードのデザインによって、BMW ブランド特有のドライバー志向のコンセプトを実現しています。センター・コンソールは、ドライバー・エリアと助手席エリアを視覚的にも分割するデザインとなっています。エア・コンディショナーとオーディオ・システムの操作パネルは、わずかにドライバー側に向いたデザインになっています。

BMW X1 のエクステリア・カラーは、市場導入時点で 7 色が用意されています。インテリアには、力強さと自然な雰囲気をかもし出すカラーを用意し、数多くの仕様から選ぶことで、自分の好みのスタイルに応じたカスタマイズが可能になっています。シート・カラーは、標準装備のエレクトラ・クロスのほかにも、オプション装備として、スポーティなストライプ・デザインのメディアン・クロス、あるいはネバダ・レザーから選ぶことができます。このクルマを自分自身の特別な一

台にするため、さらに 7 色のトリム・カバーと 5 種類のトリム・パネルから、お好きなものを選ぶことができます。

そのほかにも、BMW X1 にはクール・エレガанс・デザイン・パッケージが用意されており、この場合はオイスター・カラーのレザー・スポーツ・シート、黒と黄のパイピングが施されたバックレスト、さらにライト・ウェーブ・ウッドのトリム・パネルなどが装備されます。また、このパッケージでは、ダッシュボード下部およびセンター・コンソールもオイスター・カラーに統一され、足元のマットも同色となります。

センター・コンソールに用意された多くの収納ボックス、トレイ、カップ・ホルダーや、飲料ボトルを収納可能な大型のドア・ポケットは、BMW X1 の機能性を高めています。広々としたリア・シートは、大人 3 名が快適に座ることができます。さらにBMW X1 のインテリアには、必要なときにはいつでも簡単に、素早く荷物を積み込むスペースを用意できる機能を組み込んでいます。大きなテールゲート、幅の広いラゲージ・ルーム開口部、低い荷室フロアにより、大きな荷物でも快適に積み込むことができます。リア・シートのバックレストの傾きは、最大 30 度まで調節できます。バックレストを垂直位置(カーゴ・ポジション)に調節すると、ラゲージ・ルーム容量は 420 リッターから 480 リッターまで増えます。40:20:40 の割合で分割された可倒式バックレストは、さらに多くのラゲージ・ルーム・バリエーションを提供します。バックレストの中央部分のみをたたむと、46 インチのゴルフ・バッグを 2 個、または 4 組のスキー・セット、あるいは 2 組のスノーボードを積み込むことができる大きなスルー・ローディング開口部が現れます。リア・シートのバックレストを完全に折りたたむと、収納スペースの容量は 1,350 リッターに拡大できます。さらに、ラゲージ・ルーム・フロアの下にも独立した収納スペースがあります。また、オプション装備品として、スルー・ローディング用のトランスポーテーション・バッグの他、ルーフ・レールやリア・ラゲージ・ラック準備キットも用意しています。

エンジン:セグメント最高の効率性と運動性能を実現

BMW X モデルは、BMW ならではの駆けぬける歓びをさらに高めるモデルであり、BMW X1 はこの歓びだけでなく、セグメントでトップ・クラスの効率性も提供します。BMW X1 sDrive20d および BMW X1 sDrive18d は、この種のモデルとしては初めて、EU テスト・サイクルにおける CO₂ 排出量が 140 g/km を下回りました。その他のエンジン・バリエーションにおいても、ドライビング・プレジャーと燃費に関して極めて良好なバランスを実現しています。これは、突出した効率性を誇るエンジンと、BMW ブランドではおなじみとなった、モデルごとに装備される様々な BMW エフィシエント・ダイナミクスの組合せで実現しています。BMW エフィシエント・ダイナミクスを適用したものとして、ブレーキ・エネルギー回生システム、空力特性の向上、インテリジェント・ライトウェイト構造、暖機特性を最適化したファイナル・ドライブ、電動フューエル・ポンプや分離クラッチ付きエア・コンディショナー・コンプレッサーなどのオンデマンド作動式の補機類などが挙げられます。マニュアル・トランスミッション搭載モデルには、さらに

オート・スタート・ストップ(オートマチック・エンジン・スタート／ストップ)機能やギアシフト・ポイント・インジケーターが装備されています。四輪駆動システムBMW xDrive用では、効率性を向上させた新型トランスファー・ギアボックスを開発しました。また、BMW X1 xDrive28iに搭載されるエンジンは、特性マップ制御式オイル・ポンプも装備しています。

最も高性能なモデルはBMW X1 xDrive28iで、排気量3.0リッターの直列6気筒ガソリン・エンジンは、最高出力190 kW(258 ps)/6,600 rpm、最大トルク310 Nm/2,600～3,000 rpmを発生します。マグネシウム-アルミニウム複合材料製クランクケース、可変バルブ・コントロールのバルブトロニック、無段階カムシャフト調整のダブル VANOSを装備したこのエンジンは、重量が軽く、BMW製6気筒エンジン特有の振動が少なく高回転域まで爽快に吹け上がり、低回転域では優れたレスポンスを実現します。BMW X1 xDrive28iの加速性能は、静止状態からわずか6.8秒で100 km/hに達し、最高速度は205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合230 km/h)です。この6気筒エンジンの効率性と燃費および排出ガスを削減する様々な対策により、EUテスト・サイクルによる平均燃費は100 km走行あたり9.4リッター、CO₂排出量は1 km走行あたり219 gを達成しています。

BMW X1 xDrive23dはBMWツインパワー・ターボおよび第4世代のコモン・レール式ダイレクト・インジェクションを装備した4気筒ディーゼル・エンジンを搭載し、圧倒的なトルクと模範的な効率性を両立させています。排気量約2.0リッターのこのオール・アルミ製パワー・ユニットは、最高出力150 kW(204 ps)/4,400 rpm、最大トルク400 Nm/2,000～2,250 rpmを発生します。このエンジンのバリアブル・ツイン・ターボ・テクノロジーは、自然なレスポンスを実現するためのもので、アクセルの踏み込みが小さいときは小型のターボ・チャージャーが、アクセルを大きく踏み込むと2つ目の大型のターボ・チャージャーが作動します。最大噴射圧が2,000 barのピエゾ・インジェクターは、極めて精密に燃料を噴射します。BMW X1 xDrive23dは静止状態から100 km/hまでを7.3秒で加速し、最高速度は205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合223 km/h)です。このようにスポーティな走行性能を示す一方で、EUテスト・サイクルによる平均燃費は6.3リッター／100 km、CO₂排出量は167 g/kmとなっています。

もう1つの4気筒ディーゼル・エンジンは、可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーおよび最大1,800 barの噴射圧を発生するピエゾ・インジェクター付きのコモン・レール式ダイレクト・インジェクションを装備し、最高出力は130 kW(177 ps)/4,000 rpm、最大トルクは350 Nm/1,750～3,000 rpmです。排気量は同じ2.0リッターのこのオール・アルミ製ディーゼル・エンジンは、BMW X1 xDrive20dを8.4秒で、BMW X1 sDrive20dを8.1秒で、静止状態から100 km/hまで加速させ、最高速度はどちらも205 km/hです。オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合、BMW X1 xDrive20dの最高速度は213 km/hに、またBMW X1 sDrive20dの最高速度は218 km/hになります。

す。いずれのモデルも、燃費および排出ガスの値は卓越したレベルになっています。EU テスト・サイクルによる平均燃費は、BMW X1 xDrive20d では 5.8 リッター／100 km、BMW X1 sDrive20d では 5.3 リッター／100 km となり、CO₂ 排出量は 153 g/km または 139 g/km となっています。

BMW X1 xDrive18d および BMW X1 sDrive18d に搭載される最高出力 105 kW(143 ps)/4000 rpm の 4 気筒ディーゼル・エンジンは、BMW X モデルをより一層経済的に楽しむための選択肢です。このパワー・ユニットも、コモン・レール式ダイレクト・インジェクションと可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーを装備しており、最大トルクは 320 Nm/1,750～2,500 rpm を発生します。静止状態から 100 km/h までの加速は、BMW X1 xDrive18d が 10.1 秒で、BMW X1 sDrive18d は 9.6 秒です。最高速度はそれぞれ 195 km/h または 200 km/h となっています。EU テスト・サイクルによる平均燃費は、BMW X1 xDrive18d が 5.7 リッター／100 km で、CO₂ 排出量は 150 g/km です。最も効率性に優れたモデルは BMW X1 sDrive18d で、平均燃費が 5.2 リッター／100 km、CO₂ 排出量は 136 g/km です。

BMW X1 xDrive28i および BMW X1 xDrive23d には、6 速オートマチック・トランスミッションが標準装備されます。BMW X1 xDrive20d に標準装備される 6 速マニュアル・トランスミッションに代わって、オプションの 6 速オートマチック・トランスミッションを装備すると、コンパクトな BMW X モデルの俊敏な走りを快適に愉しむことができます。このオートマチック・トランスミッションのスポーティな特性には、走行を開始するとすぐクラッチを締結し、ダイレクトにエンジンと接続する機能が大きく貢献しています。反応時間とシフト時間が短く、アクセル・ペダルのあらゆる動きに自然に反応します。2 速以上のギアを飛ばしてシフト・ダウンする場合も目的のギアに直接シフトするので、余計な時間がかかりません。このオートマチック・トランスミッションにはステップトロニック機能も装備しており、ドライバーはマニュアル操作でシフト・チェンジを行うこともできます。

BMW xDrive: コンパクトセグメントで初のインテリジェント四輪駆動システム

BMW のフルタイム四輪駆動システム xDrive は、フロント・アクスルとリア・アクスルへの駆動力を可変配分することで、俊敏性と不安定な路面での卓越したトラクションを両立させます。この抜きんでた品質を誇るシステムによって、BMW はプレミアム・セグメントにおける世界で最も成功した四輪駆動車メーカーになりました。そして今回から、ついにインテリジェント四輪駆動システムが、コンパクト・クラスでも楽しめるようになりました。xDrive は電子制御式多板クラッチを装備したトランスファー・ギアボックスを介して、状況に応じて適切に駆動力を調整しながら、常に接地状態が最も良好なホイールのアクスルへ配分します。

BMW X1 の四輪駆動システムも、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) およびエンジン・マネージメントとネットワークで接続されており、いずれかのホイールでスリップの兆候が見られると、ホイールをモニターするセンサーが直ちに検知します。このシステムは、1 秒にも満たないわずかな時間で駆動

力配分を変更することができます。言い換えれば、ホイールが空転を始める前にシステムが反応するので、オーバー・ステアやアンダー・ステアの傾向に対しても、早期に、確実にこれらを打ち消すように駆動力を配分できます。コーナリング中は、操縦性を高めてアンダー・ステア傾向を打ち消すために、早い段階で駆動トルクの多くをリア・アクスルへと配分します。コーナー出口では、立ち上がり加速に最適な駆動力を得るため、フロント:リアの駆動力配分を直ちに基本設定である 40:60 に戻します。厳しい走行状況においても、xDrive は可能な限り良好な走行安定性を維持するように駆動トルクを配分します。駆動トルク配分の制御だけでは走行安定性を維持できなくなると、DSC によるホイールごとのブレーキ制御とエンジン出力低減を行います。

ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)は、ABS の他にも、ダイナミック・ブレーキ・コントロール(DBC)、コーナリング・ブレーキ・コントロール(CBC)、ダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)を統合しています。DTC は、安定性を制御するための限界値を引き上げ、積雪路や砂地などのホイールが空転しやすい状況での発進を容易にします。BMW X1 xDrive28i の DSC には、ブレーキ・ディスクが濡れているときに水滴を除去するドライ・ブレーキ機能と坂道発進アシスタント機能も組み込まれています。

四輪駆動モデルには、特別装備品としてパフォーマンス・コントロールが用意されており、このシステム単独でも、あるいはオプション装備品のスポーティ・シャシー・セットアップと組み合せても装備することができます。これはネットワーク化された xDrive コントロール・ユニットによるトルク調整機能とより繊細なブレーキ・コントロールを実現するシステムで、滑りやすい路面やダイナミックなコーナリング時などで、アンダー・ステアの兆候が認められた時点で直ちにこれを打ち消し、車両の操縦性を高めます。例えばフロント・ホイールが極度に外側へ押し出されそうになると、直ちに xDrive とネットワーク化された DSC のコントロール・ユニットがコーナー内側のリア・ホイールにブレーキを作動させます。これにより失われる駆動力は、同時に行われる駆動トルクの増大により補正されます。

最新のサスペンション技術と剛性の高いボディ構造による 最高の俊敏性と万全な安全性

高い基準を確立したサスペンション・テクノロジーと極めて剛性の高いボディ構造が、BMW X1 の俊敏性、正確性、卓越した走行性能を保証します。フロント・アクスルは、四輪駆動モデルはリーディング・リンク付きダブルジョイント・スプリング・ストラット・アクスルを装備し、後輪駆動の BMW X1 sDrive20d および BMW X1 sDrive18d にはアルミ製ダブルジョイント・スプリング・ストラット・アクスルを装備しています。リア・アクスルは、全てのモデルに分離型ダブル・ウィッシュボーン式 5 リンク・アクスルを装備し、これらがあいまって、スポーティな走行特性と快適性を理想的なバランスで実現しています。油圧式ラック・アンド・ピニオン・ステアリングは、非常に精密なパワー・アシストを行います。すべての四輪駆動モデルにオプション設定されている車速感応式パワー・ステアリングのサーボトロニックは、さらに滑らかで扱いやすいステアリング操作を実現しま

す。

BMW X1 の強力なブレーキ・システムは、卓越した制動力を発揮します。エンジン・バリエーションに応じてサイズの異なるディスク・ブレーキを装備し、フロントのブレーキ・システムはモデルに応じてフローティング・キャリパーかフレーム式キャリパーを装備します。BMW X1 の全モデルに、スチール製あるいはアルミ製の 17 インチ・ホイールを標準装備しています。タイヤ・パンク表示が標準装備されており、空気圧が完全に失われた状態でもワークショップまで走行を可能にするランフラット・タイヤもオプション設定されています。

極めてねじり剛性の高い BMW X1 のボディは、適切な部位に高強度鋼および超高張力鋼を使用する開発コンセプト、インテリジェント・ライトウエイト構造に基づくものです。材料の選択も、支持部材、ストラットおよびサポートの配置と形状も、最大の衝突安全性を確保すると同時に重量の最適化および車両の俊敏性の最大化を目指したものとなっています。衝突時に作用する力は、エンジン・マウントとサスペンションを経由して複数の負荷分散経路へと導かれ、個々の支持構造に対する過大な負荷と頑丈なパッセンジャー・セルへの影響を回避します。BMW X1 の室内には、フロント・エアバッグ、サイド・エアバッグの他にフロントおよびリア・シートの側部にカーテン式ヘッド・エアバッグも標準装備しています。BMW X1 の全シートには、3 点式 ELR シートベルトが装備されています。前席にはベルト・フォース・リミッターとプリ・テンショナーを備えています。さらにリア・シートには、ISOFIX チャイルド・シート固定ブラケットが標準装備されています。すべてのレストRAINT・システムは、セイフティー・エレクトロニクスによって集中制御されています。

標準装備のデイ・ランニング・ライトとオプションのバイキセノン・ヘッドライト

BMW X1 に標準装備される片側 2 灯式の丸型ヘッドライトには、デイ・ランニング・ライトも一体化されています。オプションで、BMW の特徴であるコロナリングによるポジション・ライトとデイ・ランニング・ライトが組み合わされたバイキセノン・ヘッドライトも用意しています。これを装備した場合、L 形テール・ライトに強い印象を与えるライト・ガイド式 LED ライトがセットで装備されます。BMW X1 には、ハイビーム・アシスタントとレイン・センサーの他に、オプションでアダプティブ・コーナリング・ライトも用意しています。これは、ステアリングの操舵角度に応じて路面を適切に照射するシステムです。アダプティブ・ブレーキ・ライトは、特に急ブレーキ操作の際に後続の車両に対する効果的な警告装置として機能します。

特別装備品:機能的、革新的、高品質

高品質の特別装備品により、BMW X1 の日常使用における利便性、ドライビング・プレジャー、そして旅行時の快適性をさらに高めることができます。ルーフ・レール、専用収納パッケージ、取外し可能なボール・ヘッド付きトレーラー・ヒッチなどにより、さらに多くの荷物を運ぶことができます。スポーツ・シート、シート・ヒーター、オートマチック・エア・コンディショナー、ライト・パッケージおよび大

型のパノラマ・ガラス・サンルーフは、室内の快適性を高めます。標準装備のオーディオ・システムには、6 個のスピーカーと CD プレーヤーに加えて外部入力(AUX)端子が備わっていて、さらにオプション装備品の USB インターフェースを装備すれば、市販の MP3 プレーヤーやその他のデータ・キャリアを車載のエンターテイメント・システムに統合することができます。最高の音質を楽しみたいお客様のために、ハーマン・カードン製サラウンド・サウンド・システムも用意しています。

BMW X1 には、ビジネス・ナビゲーション・システムまたはプロフェッショナル・ナビゲーション・システムが用意されており、センター・コンソールに配置されたコントローラーとダイレクト選択ボタンを含む新世代操作システム BMW iDrive、プログラマブル・ボタンおよび 6.5 インチまたは 8.8 インチの大型コントロール・ディスプレイが装備されます。これにより、BMW Assist、BMW Online およびインターネットを制限なく利用可能にするなど、数多くの BMW コネクテッド・ドライブのサービスが利用できます。

BMW X1 は、ライプツィヒの BMW 工場で生産されます。この工場では新しい X モデルと並行して、BMW 1 シリーズのクーペおよびカブリオレ、BMW 3 シリーズ・セダンの 3 つの現行モデルも生産しています。BMW のライプツィヒ工場は、世界で最も新しい自動車生産施設のひとつであり、極めて高い柔軟性を実現する革新的な生産プロセスを特徴としています。

3. コンセプト: プレミアム・コンパクト・セグメントで 今までにないタイプのクルマ



- 着実に開発を続ける BMW X モデル・ファミリー
- 競合車にはない独自の俊敏性と効率性
- トップ・モデルには直列 6 気筒エンジンを搭載

「他のあらゆる BMW X モデルと同様に、BMW X1 もまた新たに確立した市場セグメントに進出します。」

BMW AG 開発担当取締役 クラウス・ドレーガー

未知の荒野を開拓する能力は、すべての BMW X モデルの持つ長所である。この言葉が意味するものは、悪路を走破する能力だけを伝えているのではなく、国際的な自動車市場への取り組みについても述べています。10 年前、BMW X5 の市場導入により、スポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)というまったく新しい車両コンセプトを確立しました。これより少し遅れて導入した BMW X3 は、同様にスポーツ・アクティビティ・ビークルというコンセプトでありながら、別の車両セグメントを開拓することに成功しました。その後の BMW X6 も、他に例のない世界初のスポーツ・アクティビティ・クーペ(SAC)というコンセプトを打ち立てました。そして BMW は、今、再び開拓者となります。BMW X1 は、この種のモデルとしてコンパクト・セグメントに参入する初めてのプレミアム・カーなのです。

BMW X1 は、この車両クラスにも新たな手法で表現された BMW に典型的な駆けぬける歓びを伝えるために導入されるものです。BMW X モデルの最新メンバーは、様々なスポーツ・シーンに対応する多様性と都市部およびその他の場所での交通状況において最高の俊敏性を発揮します。革新的な四輪駆動システム BMW xDrive も含めた卓越したドライブトレイン技術と同じく最新設計の様々な用途に使用できる車室は、BMW X1 に多様でうれしい体験にあふれたモビリティーのための理想的な前提条件を提供します。

BMW X モデル: 10 年間にわたり競合車をリード

BMW は革新的で時代をリードする存在として、すでにスポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)というカテゴリーを創出しました。1999 年に導入した BMW X5 は、その躍動的なキャラクターが好評を呼び、市場導入当初から非常に有利なポジションを獲得することができました。その後、次第に激しい競争を繰り広げるこのセグメントにおいて、卓越した運動性能を持つ新型 BMW X5 の導入により、このモデルの存在感はますます大きくなりました。BMW X5 の成功は、スポーティな走行特性を持つことが、このセグメントにおいても重要な役割を果たすことをはっきりと証明しました。

BMW X3 もまた、セグメントにおける競争の舞台を新たに拡張する存在として、

つまり最初のプレミアム・カーとして登場しました。卓越した俊敏性を誇り、インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を採用し、パワフルで、しかも高効率のエンジンを搭載し、プレミアム・カーとしての高い品質および装備した BMW X3 は、たちまち時代をリードする存在となり、またベスト・セラーにもなりました。このモデルは、世界中で 50 万台以上が販売され、後々まで語り継がれるほどの成功を収めました。

着実に開発を続ける BMW X モデル・ファミリーの一員として、2008 年には BMW X6 を導入しました。その革新的な車両コンセプトは、BMW の特徴である突出した運動性能を、よりターゲットを絞り込む形で解釈しなおしたものです。先進的なドライブトレイン・テクノロジーおよびサスペンション・テクノロジーを備えたこのスポーツ・アクティビティ・クーペは、BMW X モデルの運動性能を新たな次元へと進化させました。とりわけ重要な特徴は、世界で唯一のダイナミック・パフォーマンス・コントロールと、BMW X6 で初めて公開された BMW ツインパワー・ターボおよびハイ・プレシジョン・インジェクション(高精度ダイレクト・インジェクション)を装備した 8 気筒エンジンです。

BMW X1: プレミアム・コンパクト・セグメントにおけるドライビング・プレジャーの新たな基準を確立

BMW X モデル・ファミリーの 4 番目のモデルとして、BMW X1 はプレミアム・コンパクト・セグメントにおける新たな基準を確立します。このモデルは、スポーツやレジャー、あるいは新しいライフ・スタイルに焦点をあてたクルマに求められる要求に対する最新の答えです。BMW X1 は、新たに創出した革新的な車両コンセプトによって BMW X モデルを拡張し、BMW ならではの駆けぬける歓びをまったく独自な方法で定義しています。

エンジン・バリエーションは、トップ・モデルの直列 6 気筒ガソリン・エンジンに加えて 3 種類のディーゼル・エンジンを用意し、それぞれのクラスでドライビング・プレジャーの基準を高めます。これらのエンジンによるパフォーマンスと燃費の関係は、BMW エフィシエント・ダイナミクスの恩恵により、競合車の中でも最も優れたものとなっています。最高の成績を示すモデルが BMW X1 sDrive18d で、EU テスト・サイクルにおける平均燃料消費量は 5.2 リッター／100 km で、CO₂ 排出量は 136 g/km です。先進の技術を駆使することで、このカテゴリーの車両であっても優れた効率性を達成することができるのです。

このようにして BMW は、革新的な技術力と様々な顧客の要望を確実に感じ取ることで、何度も競争の先頭に立つのです。BMW AG の開発担当取締役クラウス・ドレーガーは、次のように述べています。「他のあらゆる BMW X モデルと同様に、BMW X1 もまた新たに確立した市場セグメントに進出します。」

4. デザイン： 様々なスポーツ・シーンに対応する 多様性と自信に満ちた優雅さ



- **BMW らしい伸びやかなプロポーションによるスポーティな外観**
- **BMW X モデルの特徴的な装備品**
- **力強く自然な色使い、広々としたインテリア**

「BMW X1 のデザインは、若々しい輝きを放ち、沸きあがるようなパフォーマンス、BMW X モデルならではの多様性を表現している。」

BMW グループ・デザイン部門統括責任者 アドリアン・ファン・ホーデンク

BMW X1 の走りの特徴は、卓越した俊敏性と様々なスポーツ・シーンに対応する多様性です。これらの特徴は、ボディ・デザインにも現れています。さらに、自信に満ちたその優雅さや便利な機能性もはっきりと確認することができます。フロントからサイドを通りリア・エンドまで、ボディの各部はくっきりとしたラインによって継ぎ目なく流れるような一体感を表しています。

全長 4.45m のこの 5 ドア・モデルは、BMW X6 や BMW X5、BMW X3 と比べてボディ・サイズが小さいにもかかわらず、どの角度から見ても BMW X モデルであることがわかります。ほとんど四角形に近い形状のホイール・ハウス、独特的な面構成、垂直に切り立った BMW キドニー・グリルなどに、このクルマの頑丈さが現れています。高い地上高やボディ下部の細いプロテクション・トリムも BMW X モデルに典型的な特徴です。これらは、BMW X1 が悪路でも優れた走行性能を発揮できることを示しています。オプションで用意されているルーフ・レールは、このクルマの多彩な機能性を補強する装備です。

スポーティ・キャラクターを強調する伸びやかなプロポーション

長いエンジン・フード、短いフロント・オーバーハング、2.76m の長いホイール・ベース、傾斜が強くフラットなリア・ウインドウなどが伸びのあるプロポーションを強調し、BMW X1 のスポーティなキャラクターを表現しています。BMW X1 は空力特性も優れており、そのことは何よりも BMW X1 sDrive20d、BMW X1 xDrive18d、BMW X1 sDrive18d の空気抵抗係数(Cd 値)が 0.32 という数値を見てもわかります。

フロント・エンドは、力強いバンパーと切れ目なく一体化された BMW キドニー・グリルが存在感を強調するデザインとなっています。外側に張り出したホイール・ハウス、印象的な造形のエンジン・フード、エンジン・フード上をキドニー・グリルまで続く輪郭線が、BMW X1 の外観にさらに力強さを与えています。BMW の特徴である片側 2 灯式の丸型ヘッドライトは、上部がマスクされており、幅の

広さを強調するランプの配列と組み合わさって、その印象をさらに強めています。ヘッドライト周辺の 3 次元的な形状も、その輪郭を際立たせています。BMW X モデルの特徴である外側の高い位置に配置されたフォグ・ランプは、バンパーに深く埋め込まれています。他のすべての BMW X モデルと同様に 2 ピース式のバンパーは、ボディ・カラーで塗装された部分とその下の丈夫な黒いプラスチック部分で構成されています。このプラスチック部分は、アンダー・ボディ・プロテクション・カバーの一部にもなっています。フロント・エプロンのボディ・カラーで塗装された部分は、両端が下方へ向かっており、このため視線をホイールへと誘導し、しっかりとしたスタンスの安定感を強調しています。大きなエア・インテークの下に配置されたシルバーのアンダー・ガードは、このクルマが BMW X モデルの一員であることをはっきりと表現しています。

BMW X1 のサイド・ビューでは、3 つの独特的なラインが印象的です。ドア・オーブナーと同じ高さをリアへと向かって力強く上昇するショルダー・ラインと、わずかに上昇しながら後方に伸びるドアシル・ラインとが組み合わさって、ダイナミックなウエッジ・シェイプを形成します。2 つのラインの間にあるキャラクター・ラインは、フロント・ドアのところでまず下降し、わずかに上昇しながらリア・ホイール・ハウスの直前でダイナミックに上昇してサイド・ビューに特別なアクセントを与えています。このキャラクター・ラインの向かう先には、BMW 特有のデザイン的特徴でもある「ホフマイスター・キンク」があり、キャラクター・ラインとウインドウを視覚的に一体化させ、BMW X1 に俊敏でコンパクトな印象を与えています。

入念に造形されたリア・エンドの幅の広さを強調しているのが、力強いホイール・ハウスと水平のライン、わずかに丸みを帯びながら互いにつながっているような印象の面構成です。テールゲート下端部は、サイドのキャラクター・ラインとの連続性を感じさせます。これとは対象的に、ブランドの特徴である L 形のテール・ライトは、シャープなラインによる新たなデザインが施されています。テール・ランプの下側の輪郭線は、ヘッドライト端部やサイド・ウインドウ端部のデザインと同様に上昇するラインを描いています。BMW X1 のリア・エンドでも、バンパーの下側には車両全体をカバーするアンダー・ボディ・プロテクションの一部が覗いています。このシルバーのアンダー・ガードは、BMW X モデルの特徴である頑丈なキャラクターを強調しています。オプション設定されている X ラインを装着すると、BMW X1 の外観をさらに印象的に仕上げることができます。X ラインは、フロント・バンパーとリア・バンパーに追加されたシルバー塗装のインサート、同じくシルバー塗装されたサイド・シル、ロワー・エア・インテークを水平に分割するクロス・バーで構成されています。オプションのルーフ・レールは、X ラインとの組合せでアルマイト処理されたシルバー塗装あるいは艶消しブラックのいずれかを選べます。

インテリア・デザイン：高品質、現代的、機能的、開放的

くっきりとした図形で構成された印象深いデザイン、面積の広いトリム・パネル、ダイナミックなラインが、BMW X1 のインテリアにスポーティで若々しい印象を与えています。ダッシュボードは水平のラインで分割されてドア・トリムへと連続

しています。このデザイン構成は、幅の広さを強調し、室内をより広々と感じさせます。オプションの iDrive 操作システムで使用するコントロール・ディスプレイも、今までにないスタイルでダッシュボードに調和するように一体化されています。

BMW X モデルの特徴である高いシート・ポジションは、乗り降りが快適にでき、交通状況を確認しやすくなるため、ドライバーはある種の優越感さえ感じることができます。前方へ向けてわずかに湾曲するダッシュボードも視覚的な優位性を感じさせます。BMW ブランド特有のドライバー志向のコンセプトを実現するため、新たな手法として、コックピット周り、センター・コンソール、ダッシュボードには非対称的デザインを採用しています。センター・コンソールは、ドライバー・エリアと助手席エリアを視覚的にも分割するデザインとなっています。助手席側を高くしたセンター・コンソールのデザインは、そのことをはっきりと表しており、スイッチ類やセレクター・レバー、オプションの iDrive 操作システム用のコントローラーは、ドライバーが操作しやすいようにデザインされています。エア・コンディショナーとオーディオ・システムの操作パネルは、わずかにドライバー側へと傾いています。ダッシュボード下部のコントラスト・カラーの部分は、左右へ向かうにつれて上昇し、メーター・パネルとその上のシュラウドを囲むようにして、ドライバーの視線を前方の路面へと向けています。このドライバー方向へと傾いた部分に、エンジン・スタート・ストップ・ボタンがあります。

BMW X1 のエクステリア・カラーは、市場導入時点で 7 色が用意されています。インテリアには、力強さと自然な雰囲気をかもし出すカラーを用意し、数多くの仕様から選ぶことで、自分の好みのスタイルに応じたカスタマイズが可能になっています。標準装備のエレクトラ・クロスのほかにも、オプション装備としてスポーティなストライプ・デザインのメティアン・クロス、あるいはネバダ・レザーから選ぶことができます。このクルマにスポーティで活き活きとした雰囲気を加えるか、あるいはエレガントな印象を演出するか、自分自身の特別な一台に仕立てるために、さらに 7 色のトリム・カバーと 5 種類のトリム・パネルから、お好きなものを選ぶことができます。

そのほかにも、BMW X1 にはクール・エレガンス・デザイン・パッケージが用意されており、この場合はオイスター・カラーのレザー・スポーツ・シート、黒と黄のパイピングが施されたバックレスト、さらにブライト・ウェーブ・ウッドのトリム・パネルなどが装備されます。また、このパッケージでは、ダッシュボード下部およびセンター・コンソールもオイスター・カラーに統一され、足元のマットも同色となります。

5. ドライビング・エクスペリエンス： 人を惹きつけずにおかない俊敏性



- コンパクト・セグメントに xDrive がデビュー
- 駆動トルクの可変配分によりコーナリング時の俊敏性をさらに向上
- エントリー・モデルは BMW らしさあふれる後輪駆動を採用

「BMW X1 は、コンパクト・セグメントにおける BMW X モデルが、どれほどどのドライビング・プレジャーを秘めているのかを印象的に示している。」

運動性能評価部門統括責任者 ハインツ・クルッ Sche

BMW X1 は、コンパクト・セグメントで初めて BMW X モデルの特徴的な駆けぬける歓びを受け継いだモデルです。このクルマの他に類のないドライビング・エクスペリエンスは、パワフルなエンジンに精巧な前後のアクスルによる最新のサスペンション・テクノロジーを組み合わせ、ドライブトレインからの影響を全く感じさせない精密なステアリング、高性能ブレーキ・システムがもたらしています。さらに、バランスのとれた前後軸荷重配分によって、俊敏なハンドリングを実現しています。BMW X モデル特有の高いシート・ポジションでハンドルを握るドライバーは、BMW X1 の魅力あふれるスポーティな走りを、思う存分楽しむことができます。

インテリジェント四輪駆動システム xDrive はあらゆる状況に即応し、たとえ踏み固められた路面から逸脱しても、確実に駆動力を伝達します。この電子制御式のフルタイム四輪駆動システムは、BMW X1 の運動性能だけでなく、走行安定性と駆動力の伝達性をも高めます。一方、手ごろな価格の 2 つのエントリー・モデル、BMW X1 sDrive20d と BMW X1 sDrive18d は、リア・アクスルだけで駆動力を伝達します。後輪駆動方式を採用することで、BMW の典型的な走りをコンパクト・セグメントでも体験することができます。たとえ駆動方式が違っていても、BMW X1 のすべてのバリエーションには、ドライビング・スタビリティ・コントロール・システムであるダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)とダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)が装備されています。

最新のサスペンション・テクノロジーと頑丈なボディ構造がもたらす 突出した俊敏性

突出した俊敏性、正確性、優位性を見せる BMW X1 の走行特性は、非常に高度なサスペンション・テクノロジーと、極めて頑丈なボディ構造によってもたらされています。四輪駆動方式の上位モデルにはリーディング・リンク付きダブルジョイント・スプリング・ストラット式アクスルを装備し、後輪駆動の BMW X1 sDrive20d と BMW X1 sDrive18d にはアルミ製ダブルジョイント・スプリング・ス

トラット式アクスルを装備しています。すべてのモデルに装備した 5 リンク式リア・アクスルとの組み合わせにより、優れた運動性能と走行快適性を最適な状態で両立させています。油圧式ラック&ピニオン・ステアリングは、極めて正確なパワー・アシストを特徴としています。また、すべての四輪駆動モデルには、より快適なハンドリングを実現する車速感応式パワー・ステアリング、サポートロニックをオプション装備品に設定しています。

卓越した制動力を誇る BMW X1 の高性能ブレーキ・システムは、すべてのホイールにディスク・ブレーキを装備しており、エンジン・ブレーキングに応じてディスク・サイズを変えています。また、フロント・ブレーキには、モデルに応じてフローティング・キャリパーまたはフレーム・キャリパーを装備しています。BMW X1 のすべてのモデル・バリエーションに、17 インチのスチール・ホイールまたはアルミ・ホイールを標準装備しています。また、タイヤ・パンク表示機能も標準装備されており、オプション装備品にはランフラット・タイヤも用意しています。このタイヤは、完全に空気圧を失った状態でもワーク・ショップまで走り続けることができます。

コンパクト・セグメント初のインテリジェント四輪駆動システム

前後のホイールへ駆動トルクを可変配分するフルタイム四輪駆動システム BMW xDrive は、BMW X1 の俊敏性を向上させ、荒れた路面でも優れたトラクションを発揮します。このシステムの納得のいく性能によって、BMW は世界中で最も成功したプレミアム・セグメントの四輪駆動メーカーとなりました。そして今回、このインテリジェント四輪駆動システムを装備した BMW X1 が、初めてコンパクト・クラスに参入します。xDrive は、エンジンのパワーを状況に応じて最適に配分し、電子制御式多板クラッチ内蔵のトランスファー・ギアボックスを通じて、常に路面コンタクトが最も良好なホイールに駆動力を伝達します。

BMW X1 の四輪駆動システムも、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) およびエンジン・マネージメントとネットワークで接続されており、いずれかのホイールでスリップの兆候が見られると、ホイールをモニターするセンサーが直ちに検知します。このシステムは、1 秒にも満たないわずかな時間で駆動力配分を変更することができます。言い換えれば、ホイールが空転を始める前にシステムが反応するので、オーバー・ステアやアンダー・ステアの傾向に対しても、早期に、確実にこれらを打ち消すように駆動力を配分できます。コーナリング中は、操縦性を高めてアンダー・ステア傾向を打ち消すために、早い段階で駆動トルクの多くをリア・アクスルへと配分します。コーナー出口では、立ち上がり加速に最適な駆動力を得るため、フロント:リアの駆動力配分を直ちに基本設定である 40:60 に戻します。厳しい走行状況においても、xDrive は可能な限り良好な走行安定性を維持するように駆動トルクを配分します。駆動トルク配分の制御だけでは走行安定性を維持できなくなると、DSC によるホイールごとのブレーキ制御とエンジン出力低減を行います。

BMW X1 に装備されるダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) も、ABS

の他にダイナミック・ブレーキ・コントロール(DBC)、コーナリング・ブレーキ・コントロール(CBC)、ダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)を統合しています。DTC は、安定性を制御するための限界値を引き上げ、積雪路や砂地などのホイールが空転しやすい状況での発進を容易にします。BMW X1 xDrive28i のDSCには、ブレーキ・ディスクが濡れているときに水滴を除去するドライ・ブレーキ機能と坂道発進アシスタント機能も組み込まれています。

四輪駆動モデルには、特別装備品としてパフォーマンス・コントロールが用意されており、このシステム単独でも、あるいはオプション装備品のスポーティ・シャシー・セットアップと組み合せても装備することができます。これはネットワーク化された xDrive コントロール・ユニットによるトルク調整機能とより繊細なブレーキ・コントロールを実現するシステムで、滑りやすい路面やダイナミックなコーナリング時などで、アンダー・ステアの兆候が認められた時点で直ちにこれを打ち消し、車両の操縦性を高めます。例えばフロント・ホイールが極度に外側へ押し出されそうになると、直ちに xDrive とネットワーク化された DSC のコントロール・ユニットがコーナー内側のリア・ホイールにブレーキを作動させます。これにより失われる駆動力は、同時に行われる駆動トルクの増大により補正されます。

BMW X1 sDrive20d と BMW X1 sDrive 18d は、 BMW らしさあふれる後輪駆動方式を採用

出力 190 kW(258 ps)の直列 6 気筒ガソリン・エンジンも、出力 150 kW(204ps)で BMW ツインパワー・ターボを備えた 4 気筒ディーゼル・エンジンも、いずれも BMW xDrive と組み合わされます。一方、その他の 2 種類のディーゼル・エンジンは、後輪駆動方式を採用しています。BMW X1 sDrive20d と BMW X1 sDrive18d の 2 つのモデルは、コンパクト・セグメントでは唯一、これまで BMW 1 シリーズだけが実現してきた BMW 特有の走りを可能にします。そしてこれらのモデルは、燃費性能および排出ガス特性の面で際立つ存在です。

コンパクト・セグメントではごく一般的で、次々と勢力を拡大している前輪駆動方式に比べて、BMW X1 にも採用している後輪駆動方式は、エンジンのパワーをリア・ホイールへ伝達するため特にダイナミックな発進加速が得られ、ステアリングに対する駆動力の影響もなく、バランスのとれた前後軸荷重配分を実現できます。さらに後輪駆動の利点として、加速時に生じる慣性力を後輪のグリップに使えるというメリットもあります。この動的な軸荷重配分は、前輪駆動モデルの場合はフロント・アクスルへの荷重が減ってホイールが空転しがちになりますが、後輪駆動の場合にはリア・ホイールにより多くの駆動力を加えることができるようになります。また、荷室に荷物を載せている場合でも、重くなった分が駆動軸にかかる路面とのコンタクトを良くするため、トラクションにとってはプラスの影響をおよぼします。

6. ドライブトレイン： より大きなパワー、さらなる多様性、 より高い効率性



- クラス最高の燃費および CO2 排出量を達成した BMW X1 sDrive18d
- トップ・モデルには出力 190 kW(258ps)の直列 6 気筒エンジンを搭載
- オート・スタート・ストップ機能など、広範囲にわたる BMW エフィシエント・ダイナミクス

「BMW X1 は、このセグメントに更なる効率性と優れた運動性能を提供します。もちろん、いずれのモデルもこれらの要素を、それぞれ最適のバランスで組み合わせています。」

ディーゼル・エンジン開発統括責任者 ウルフганг・ハル

BMW X モデルは、BMW ブランドならではの駆けぬける歓びを強烈に体現しています。そして BMW X1 は、このユニークな走りに、競合モデルを凌駕するほどの効率性を組み合わせています。BMW X1 sDrive20d および BMW X1 sDrive18d は、この種のモデルとしては初めて、EU テスト・サイクルにおける CO2 排出量が 1 km 走行あたり 140 g を下回りました。また、その他のエンジン・バリエーションでも、ドライビング・プレジャーと燃費のバランスは納得できるすばらしいものになっています。極めて高い効率性を誇るエンジンだけでなく、モデルごとに様々な組み合わせで、当然のように BMW エフィシエント・ダイナミクス・テクノロジーを採用しています。

BMW エフィシエント・ダイナミクスを適用したものとして、ブレーキ・エネルギー回生システム、空力特性の向上、インテリジェント・ライトウエイト構造、暖機特性を最適化したファイナル・ドライブ、電動フューエル・ポンプや分離クラッチ付きエア・コンディショナー・コンプレッサーなどのオンデマンド作動式の補機類などが挙げられます。マニュアル・トランスミッション搭載モデルには、さらにオート・スタート・ストップ(オートマチック・エンジン・スタート/ストップ)機能やギアシフト・ポイント・インジケーターが装備されています。四輪駆動システム BMW xDrive 用では、効率性を向上させた新型トランスファー・ギアボックスを開発しました。また、BMW X1 xDrive28i に搭載されるエンジンは、特性マップ制御式オイル・ポンプも装備しています。また、当然のことながら、BMW X1 の全てのモデル・バリエーションは EU5 排出ガス規制をクリアしています。

最上位エンジン：アルミニウム-マグネシウム複合材料製クランクケース、バルブトロニックを装備した直列 6 気筒エンジン

BMW X1 xDrive28i には排気量 3.0 リッターの直列 6 気筒ガソリン・エンジンを

搭載し、セグメント中トップ・クラスの最高出力 190 kW(258ps)/6,600 rpm、最大トルク 310 Nm/2,600～3,000 rpm を発生します。アルミニウム-マグネシウム複合材料を使用したクランクケース、無段階可変バルブ・コントロールのバルブトロニック、無段階カムシャフト・コントロールのダブル VANOS を装備したこのエンジンは、重量の軽さと BMW の 6 気筒エンジンならではの滑らかでスムーズな吹け上がり、低回転域からでも胸のすぐようなレスポンスを実現しています。

クランクケースにマグネシウムを採用し、軽量構造のカムシャフト、アルミ製 VANOS ユニットを装備したことにより、この 6 気筒エンジンは同じ出力クラスの中では突出した軽さを誇ります。バルブトロニックは、効率性を高めるために非常に有効なシステムであり、数多くの BMW 製パワー・ユニットに採用されて、世界中で評価されています。このシステムは、吸気バルブのリフト量を無段階に制御します。これによって、従来型エンジンに使用していたスロットル・バタフライが不要になり、充填サイクル時のスロットル損失を最小限に抑えています。また、燃焼に必要な空気量をエンジン自体で制御するため、エンジンから離れたところで空気量を制御し、無駄な空間を経由して吸入する従来型の方式に比べてエンジン・レスポンスも向上します。その結果、燃料エネルギーを極めて効率的に利用でき、豊かなトルク特性と優れた応答性を実現します。さらに、ダブル VANOS によって吸気バルブと排気バルブのタイミングを無段階に調整することで、低回転域から大きなトルクを発揮します。

BMW X1 xDrive28i の加速性能は、静止状態からわずか 6.8 秒で 100 km/h に達し、最高速度は 205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合 230 km/h) です。この 6 気筒エンジンの効率性と燃費および排出ガスを削減する様々な対策により、EU テスト・サイクルによる平均燃費は 100 km 走行あたり 9.4 リッター、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 219 g を達成しています。

抜きんでた推進力を発揮する BMW ツインパワー・ターボ採用の 4 気筒ディーゼル・エンジン

BMW X1 xDrive23d に搭載される 4 気筒ディーゼル・エンジンは、BMW ツインパワー・ターボおよび第 4 世代のコモンレール式ダイレクト・インジェクション・システムを装備しており、驚くほどの推進力と模範的な効率性を発揮します。排気量 2.0 リッターのオール・アルミ製エンジンは、最高出力 150 kW/204 ps/4,400 rpm を発生し、最大トルクは 400 Nm/2,000～2,250 rpm です。

このエンジンにはバリアブル・ツインターボ原理を採用した過給システムを装備し、ドライバーを魅了する優れたレスポンスを実現します。このシステムは、低回転域でまず小さいターボ・チャージャーが作動します。このターボ・チャージャーは慣性モーメントが小さいため、アクセルを軽く踏んだけでも過給効果を発揮し、わずかの遅れもなくすばやく反応します。回転数が上昇すると、大きいターボ・チャージャーも作動し、タービン・コントロール・フラップによって排気

ガスを 2 つのターボ・チャージャーに可変配分します。このフラップは、非常に高性能のエンジン・マネージメントが制御します。ピエゾ・インジェクターの最大圧力は 2,000 bar にも達し、非常に正確な燃料噴射を実現します。この並はずれて高い噴射圧と、効率的なインジェクターおよびバルブ配置を組み合わせることで、少ない燃料でも均質な燃焼を実現し、さらに未処理の排出ガスも大幅に削減します。

BMW X1 xDrive23d は静止状態から 100 km/h までを 7.3 秒で加速し、最高速度は 205 km/h(オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合 223 km/h)です。このようにスポーティな走行性能を示す一方で、EU テスト・サイクルによる平均燃費は 6.3 リッター／100 km、CO₂ 排出量は 167 g/km となっています。

驚くほどの効率性：ターボ・チャージャーとコモンレール式ダイレクト・インジェクションを備えた 4 気筒ディーゼル・エンジン

もう 1 つの 4 気筒ディーゼル・エンジンは、可変インテーク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーおよび最大 1,800 bar の噴射圧を発生するピエゾ・インジェクター付きのコモン・レール式ダイレクト・インジェクションを装備し、最高出力は 130 kW(177 ps)/4,000 rpm、最大トルクは 350 Nm/1,750～3,000 rpm です。排気量は同じ 2.0 リッターのこのオール・アルミ製ディーゼル・エンジンは、BMW X1 xDrive20d を 8.4 秒で、BMW X1 sDrive20d を 8.1 秒で、静止状態から 100 km/h まで加速させ、最高速度はどちらも 205 km/h です。オプションのハイ・スピード・セットアップを選択した場合、BMW X1 xDrive20d の最高速度は 213 km/h に、また BMW X1 sDrive20d の最高速度は 218 km/h になります。

いずれのモデルも、燃費および排出ガスの値は卓越したレベルになっています。EU テスト・サイクルによる平均燃費は、BMW X1 xDrive20d では 5.8 リッター／100 km、BMW X1 sDrive20d では 5.3 リッター／100 km となり、CO₂ 排出量は 153 g/km または 139 g/km となっています。

BMW X1 xDrive18d および BMW X1 sDrive18d に搭載される最高出力 105 kW(143 ps)/4000 rpm の 4 気筒ディーゼル・エンジンは、BMW X モデルをより一層経済的に楽しむための選択肢です。このパワー・ユニットも、コモン・レール式ダイレクト・インジェクションと可変インテーク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーを装備しており、最大トルクは 320 Nm/1,750～2,500 rpm を発生します。静止状態から 100 km/h までの加速は、BMW X1 xDrive18d が 10.1 秒で、BMW X1 sDrive18d は 9.6 秒です。最高速度はそれぞれ 195 km/h または 200 km/h となっています。EU テスト・サイクルによる平均燃費は、BMW X1 xDrive18d が 5.7 リッター／100 km で、CO₂ 排出量は 150 g/km です。最も効率性に優れたモデルは BMW X1 sDrive18d で、平均燃費が 5.2 リッター／100 km、CO₂ 排出量は 136 g/km です。

素早く反応し、変速に要する時間も短い 6 速オートマチック・トランスミッション

BMW X1 xDrive28i および BMW X1 xDrive23d には、6 速オートマチック・トランスミッションが標準装備されます。BMW X1 xDrive20d に標準装備される 6 速マニュアル・トランスミッションに代わって、オプションの 6 速オートマチック・トランスミッションを装備すると、コンパクトな BMW X モデルの俊敏な走りを快適に愉しむことができます。

このオートマチック・トランスミッションのスポーティな特性には、走行を開始するとすぐクラッチを締結し、ダイレクトにエンジンと接続する機能が大きく貢献しています。また、トーション・ダンパーを一体化した最新のトルク・コンバーター・テクノロジーを採用しており、不要なコンバーター・スリップを減らし、その結果出力損失を抑えています。これにより、走行時の動力伝達はまるでマニュアル・トランスミッションのような印象を与えます。しかも、反応時間とシフト時間が短く、アクセル・ペダルのあらゆる動きに自然に反応します。2 速以上のギアを飛ばしてシフト・ダウンする場合も目的のギアに直接シフトするので、余計な時間がかかりません。このオートマチック・トランスミッションにはステップトロニック機能も装備しており、ドライバーはマニュアル操作でシフト・チェンジを行うこともできます。



7. ボディおよび安全性： 最新の機能性と 信頼性の高い保護性能

- 快適な 5 人乗り、余裕あるラゲージ・ルーム
- 40:20:40 の分割可倒式で角度調節も可能な後席バック レスト
- 頑丈なボディ構造とフロント・エアバッグ、サイド・エアバッグ、ヘッド・エアバッグによる包括的な乗員保護システム

「BMW X1 は、創造力を刺激する機能性を提供します。つまり、このクルマの多彩な使い道が楽しくなるのです。」

BMW X1 プロジェクト・マネージャー ペーター・キルシュト

BMW X モデルの基本的な特徴の 1 つは多様性です。そのことは、オンロードで発揮する魅力的な運動性能やオフロードでの卓越したトラクションによる走りだけでなく、たっぷりと余裕があり、様々な用途に合わせて柔軟に変更できる室内空間を実現したボディ・コンセプトによって示されています。BMW X1 は、その広々とした室内と並んで、すべての座席の乗り心地を優先したり、積載容量を増やしたり、状況に合わせてレイアウトを変更できる多様性も特徴としています。

全長 4.45 m、全幅 1.80 m、全高 1.55 m のこの 5 シーター・モデルには、大人が 5 人で乗車することができます。後席には 3 つのフル・サイズ・シートを備えており、長距離ドライブでも 5 人全員が快適に過ごすことができます。BMW X1 は伸びやかなプロポーションにもかかわらず、競合車と比較して後席のヘッド・クリアランスはたっぷりとした余裕があります。さらに、ボディ・コンセプトは乗員保護のための最高レベルの安全基準を満たしています。万一の衝突の際にも、頑丈なボディ構造と包括的な安全装備により、BMW X1 は世界中の主要なクラッシュ・テストをすばらしい成績でクリアしています。

多彩な収納コンセプト、必要に応じて拡張できるラゲージ・ルーム

オープン・タイプの収納ボックス、トレイ、カップ・ホルダーがセンター・コンソールに多数設けられているほか、オープン・タイプの大型ドア・ポケットには飲料ボトル用ホルダーが組み込まれ、BMW X1 の機能性を高めています。ラゲージ・ルームには、ホイール・ハウス後ろ側のフロア部分に 2 つの大きな収納トレイがあり、手提げ袋などを固定できるフックと荷物固定用のリングが備えられています。さらに、ラゲージ・ルーム・フロア下には一時保管用の収納トレイがあり、その下の多機能トレイにはさまざまな小物を収納しておくことができます。オプションのストレージ・パッケージには、後席センター・アームレスト、運転席側

ルーフ内張りに内蔵された眼鏡ケース、前席バックレスト・ネット、ドア・ポケットの固定用ストラップが含まれています。前席センター・アームレストには、差し込み式のカップ・ホルダーとそのソケットがあり、後席センター・アームレストには 2 つのカップ・ホルダーが付いています。また、センター・コンソールのカバーには、後席からも使用できる電源コネクターがあります。ストレージ・パッケージの内容には、ほかに一時保管用フロア・トレイの仕切りや固定ストラップ、ラゲージ・ネット、ラゲージ・ルーム内の電源コネクターが用意されています。

フル・サイズのリア・シートは、大人 3 人がゆっくり座れる余裕があります。さらに、BMW X1 の室内は簡単な操作で荷物の量に合わせてすぐに変更することができます。また、大きなテールゲート、幅の広いラゲージ・ルーム開口部、低い荷室フロアにより、大きな荷物でも快適に積み込むことができます。リア・シートのバックレストの傾きは、最大 30 度まで調節できます。バックレストを垂直位置(カーゴ・ポジション)に調節すると、ラゲージ・ルーム容量は 420 リッターから 480 リッターまで増えます。40:20:40 の割合で分割された可倒式バックレストは、さらに多くのラゲージ・ルーム・バリエーションを提供します。バックレストの中央部分のみをたたむと、46 インチのゴルフ・バッグを 2 個、または 4 組のスキー・セット、あるいは 2 組のスノー・ボードを積み込むことができる大きなスルーローディング開口部が現れます。リア・シートのバックレストを完全に折りたたむと、収納スペースの容量は 1,350 リッターに拡大できます。

オプション装備品として、スルーローディング用のトランスポーターシヨン・バッグの他、アルミ製のルーフ・レールやリア・ラゲージ・ラック準備キット、脱着式ボール・ヘッド付きのトレーラー・ヒッチが用意されています。BMW X1 の最大けん引重量は 2,000 kg です(ただし、BMW X1 sDrive20d、BMW X1 xDrive18d、BMW X1 sDrive18d は 1,800 kg)。

パノラマ・ガラス・サンルーフ:新鮮な空気と光をいつでも

BMW X1 にオプション装備されているパノラマ・ガラス・サンルーフは、いつでも好きなときに光や新鮮な空気を取り入れることができます。2 分割式ルーフのガラス・エリアは、長さ 97 cm、幅 90.5 cm で、開口部は 48.5 cm です。しっかりと固定されたリア側のガラス・エリアは、ボディ剛性を高めるためにも貢献しています。更なる特徴として、ガラス面とボディ表面の接合部分が非常に滑らかに仕上げられていることが挙げられます。これはガラス・ルーフ・パネルの前側の輪郭を、ルーフ前方の輪郭に合わせて流れるように形成することで実現したものです。

パノラマ・ガラス・サンルーフのフロント側のガラス・エリアと同様に、スライド式のルーフ内張りも電動式です。このスライド・カバーは室内のルーフ内張りに合わせて仕上げており、インテリアにも調和しています。操作スイッチは、インテリア・ライト・スイッチと共にルーフ内張りに内蔵されています。

衝突にも耐える頑丈なボディ構造、6 個のエアバッグ

BMW X1 のボディはインテリジェント・ライト・ウェイト構造という開発コンセプトに基づいており、非常にねじり剛性が高くなっています。このコンセプトでは、高強度鋼や超高張力鋼を目的に合わせて最適な場所に使用するなどの方法を採用しています。材料の選択においても、支持部材、ストラットおよびサポートの配置と形状も、最大の衝突安全性を確保すると同時に重量の最適化および車両の俊敏性の最大化を目指したものとなっています。衝突時に作用する力は、エンジン・マウントとサスペンションを経由して複数の負荷分散経路へと導かれ、個々の支持構造に対する過大な負荷と頑丈なパッセンジャー・セルへの影響を回避します。

BMW X1 の室内には、フロント・エアバッグ、サイド・エアバッグの他にフロントおよびリア・シートの側部にカーテン式ヘッド・エアバッグも標準装備しています。BMW X1 の全シートには、3 点式 ELR シートベルトが装備されています。前席にはベルト・フォース・リミッターとプリ・テンショナーを備えています。さらにリア・シートには、ISOFIX チャイルド・シート固定ブラケットが標準装備されています。すべてのレストRAINT・システムは、セイフティ・エレクトロニクスによって集中制御されています。歩行者保護に関する高い要求に対しても、フロント・エンドのデフォーメーション・ゾーンによって考慮しています。さらにBMW X1 のエンジン・フードには、衝撃を吸収するデフォーメーション・ゾーンと弾力的なヒンジ機構を備えています。

デイ・ランニング・ライトを標準装備、バイキセノン・ヘッドライトをオプション装備

BMW X1 は、デイ・ランニング・ライト機能を備えた片側 2 灯式ヘッドライトを標準装備しています。オプション装備品のバイキセノン・ヘッドライトには、ポジション・ライトとデイ・ランニング・ライト機能が装備され、BMW の特徴であるライト・ガイド・リングが装着されています。このオプション装備を選択すると、リア・コンビネーション・ライトも LED 式ライト・ガイドになります。この L 字型のテール・ライトは、リア・エンドの個性を一層高めます。BMW X1 には、ハイビーム・アシスタント、レイン・センサーのほかに、オプション装備としてアダプティブ・ヘッドライトを用意しています。この機能により、ステアリングの操作に連動して進行方向の路面を照らすことができます。また、急ブレーキをかけたときには、アダプティブ・ブレーキ・ライトが後続のドライバーに対して極めて効果的に警告を発します。

8. 装備およびアクセサリー： 更なるドライビング・プレジャーを演出



- 上質なオプション装備品がプレミアム・キャラクターを強調
- 革新的な BMW コネクテッド・ドライブ・サービスによる完璧なネットワーク
- ビジネスおよびプロフェッショナル・ナビゲーション・システムと、
新世代の iDrive 操作システム

「上位クラスのセグメントにもない装備品が、
BMW X1 のプレミアム・キャラクターを際立たせる。」

BMW X モデル・プロダクト・マネージメント統括責任者 ヒルデガルド・ウォルトマン

BMW X1 の市場導入により、コンパクト・セグメントで初めての新たな駆けぬける歓びがもたらされます。それを特徴付けるのは、BMW ブランド特有のスポーティなキャラクターであり、BMW X モデルならではの頑丈さと機能性であり、プレミアム・カーの持つ高い品質と上質な装備品です。BMW X1 は、幅広い標準装備品やドライビング・プレジャーだけでなく、コンパクト・クラスでは他に類のないレベルの快適性と個性を創出するオプション装備によって、そのユニークな存在感を際立たせています。

BMW X1 にはエア・コンディショナーが標準装備されていますが、オプション装備品として、運転席側と助手席側で個別に温度を設定できるオートマチック・エア・コンディショナーを用意しています。このシステムには、ソーラー・センサー、オートマチック・デフォッガー、自動内気循環システムが含まれます。エア・コンディショナー・コンプレッサーは、走行状態に応じて作動します。エンジンのパワーを最大限に利用して急加速するような場合には、乗員が気付かない程度に、自動的に、短時間エネルギー消費を低減します。

オプション装備品のライト・パッケージは、様々な状況に合わせて趣のある照明を行う機能的なシステムです。このパッケージには、イルミネーション・ライト、前席および後席用リーディング・ライト、運転席および助手席用の照明付きメイクアップ・ミラー、足元照明、ドア・ハンドル・ライトが含まれています。BMW X1 に標準装備されるシートには、運転席側と助手席側に高さ調節機能が備えられています。オプション装備品のスポーツ・シートには、運転席側と助手席側にメモリー機能付き電動シートとシート・ヒーターが装備されます。BMW X1 xDrive28i と BMW X1 xDrive23d には、レザー・ステアリング・ホイールが標準装備されます。レザー・ステアリング・ホイールは、その他のすべてのモデル・バリエーションにはオプション装備品に設定されており、さらにマルチ・ファンクション・スイッチも装備することができます。BMW X1 xDrive28i と BMW X1

xDrive23d は、ステアリングにパドル・スイッチを装備することができ、ステップトロニック・オートマチック・トランスミッションでマニュアル・シフトが行えます。

標準装備のオーディオ・システムには、6 個のスピーカーと CD プレーヤー、外部入力(AUX)端子が備えられており、さらにオプション装備品の USB インターフェースを装備すれば、市販の MP3 プレーヤーやその他のデータ・キャリアを車載のエンターテイメント・システムに統合することができます。最高の音質を楽しみたいお客様のために、ハーマン・カードン製サラウンド・サウンド・システムも用意しています。このシステムには 11 個のスピーカーと 9 チャンネル・デジタル・アンプ、サラウンド・サウンド再生と車速感応型イコライジング機能が含まれています。ダッシュボードに内蔵されたセンター・スピーカー、アルミ・ダイアフラムを使用したパワフルなセンター・ウーファー、ハイ・グレードなミッドレンジ・スピーカー、ツイーターによって、他の追随を許さない細部にわたり忠実なサウンドを創り出します。

ユニークな機能を備えた iDrive 操作システムとナビゲーション・システム

BMW X1 には、ビジネス・ナビゲーション・システムまたはプロフェッショナル・ナビゲーション・システムとの組み合わせで、新世代の iDrive 操作システムを装備できます。このシステムにはセンター・コンソールにコントローラーとダイレクト選択ボタンが、またエア・コンディショナーの操作パネルの下にはお気に入りボタンが備えられ、6.5 インチまたは 8.8 インチのコントロール・ディスプレイが組み合わされています。このディスプレイには、オプション装備品のリアビューカメラの画像も表示します。リアビューカメラは、同じくオプションのセンサー付きパーク・ディスタンス・コントロール(PDC)とも組み合わせることができます。BMW X1 の駐車時の操作を補助します。

さらに、ナビゲーション・システム装備車には音声入力システム、Bluetooth インターフェースも装備され、携帯電話やスマートフォンのミュージック機能、通信機能をスマートに接続できます。さらに、広範囲にわたる BMW コネクテッド・ドライブのサービスも利用できます。

新開発の iDrive コントローラーは人間工学的に最適な位置に配置されており、押す、回す、傾けるといった単純な操作で、直観的かつ快適に各種の機能を選択したり作動させたりすることができます。コントロール・ディスプレイにはコントローラーのグラフィック・イメージが表示され、わかりやすい階層形式のメニューで一覧できるので、次の操作ステップを簡単に理解することができます。すべてのメニューは統一された構造になっているため、操作の習熟に時間を費やす必要もありません。

コントローラーの周囲に配置されているダイレクト選択ボタンを使うと、CD、ラジオ、電話、ナビゲーションの機能を直接呼び出すこともできます。ダイレクト選択ボタンには、さらに「MENU」、「BACK」、「OPTION」の 3 つのボタンも用意されています。これに加えて、ダッシュボード中央に配置された 8 つのお気に入り

ボタンを使うと、ラジオ放送局、電話番号、ナビゲーションの目的地のほか、iDrive で呼び出すことのできる他のメニュー項目を割り当てておき、直接呼び出すことができます。

ビジネス・ナビゲーション・システムでもプロフェッショナル・ナビゲーション・システムでも、コントロール・ディスプレイに高解像度の地図を表示し、矢印表示と組み合わせてルート案内を行います。プロフェッショナル・ナビゲーション・システムのフル・スクリーン地図表示では、さらに現在走行中の地域について、他に類のない詳細な表示も可能になり、地図や様々なシンボルも三次元画像で表示されます。加えて、立体地図を表示することも可能です。沿道にある厳選された観光名所が、写真のようにリアルな画像で強調されます。またプレビュー地図で目的地の選択が簡単にできます。

コントロール・ディスプレイには、フル・スクリーン表示のほかにアシスタント・ウィンドウを表示することもでき、メインの地図とは別の地図を表示できます。アシスタント・ウィンドウの内容は、あらかじめ設定された内容から選択できます。その際、例えばオンボード・コンピューターやエンタテイメント・プログラムの表示も選択できます。プロフェッショナル・ナビゲーション・システムの音声入力を使用すると、目的地をさらに簡単に、すばやく設定することができます。このシステムでは、初めて音声だけで希望の目的地を完全に伝えることが可能になりました。市町村、通り、番地を音声で入力すると、システムが順番に検知し、適切に分類します。この音声入力機能により、オーディオ機能の選択のほかにも、車載ハード・ディスクに保存された中から個別のミュージック・タイトルを選択することもできます。

完璧なネットワーク:BMW X1 の BMW コネクテッド・ドライブ

オプション装備品の BMW コネクテッド・ドライブ・サービスも、BMW X1 のドライバーが利用できる多彩な内容が魅力的です。BMW コネクテッド・ドライブは、目的や状況に合わせて情報を伝えるシステムで、車内での快適性を高め、乗員全員の安全性を向上させ、最新のインフォテイメント・コンテンツを利用可能にします。BMW コネクテッド・ドライブでは、革新的なドライバー・アシスタント・システムと広範囲にわたるモビリティ・サービスを提供します。これほどの内容を誇るシステムは世界に例がありません。

BMW X1 にオプション設定されているブレーキング機能付きクルーズ・コントロール・システムは、ドライバーが設定した速度を維持するために、エンジン・コントロール、ギアの選択、ブレーキ制御などに働きかけます。このシステムは、常に車両の横方向加速度を記録しており、必要に応じてエンジン・コントロールやブレーキ・システムに働きかけて減速を行い、コーナリング中でも快適性を損なわないように走行できます。さらに、下り坂走行も制御でき、トレーラーをけん引していても、必要に応じてシステムがブレーキ制御を行って支援します。

BMW コネクテッド・ドライブは、出発前に限らず移動中や目的地からでも、

BMW Assist を通じて様々な状況における幅広いユーザー重視のサポートを提供します。BMW Assist には、自車位置の情報を自動転送する機能が付いた拡張エマージェンシー・コール、拡張交通情報、幅広い情報サービス、「車に送信(Send to Car)」機能を含むインタラクティブ・コミュニケーションチャンネルのマイ・インフォ(My Info)があります。BMW テレサービスを利用すると、愛車の自動サービス予約などが可能です。その際、車載のコンディションベースド・サービス(CBS)が検知している磨耗部品の状態に関するデータを、電話回線を使って担当の BMW 正規ディーラーに転送します。さらに、BMW コネクテッド・ドライブの新しいリモート機能により、世界中で電話を使ったドア・ロックおよびロック解除の遠隔操作やメートル単位の精度による自車位置検出も可能になりました。

さらに、BMW コネクテッド・ドライブの機能として、BMW ルート機能があります。出発の前に、インターネットのルート・プランナーを利用してルートを作成することができます。そこで保存したルートは、後から BMW Assist オンライン・サービスを通じて簡単に取り込んだり、USB スティックを経由してナビゲーション・システムに転送したりすることができます。これによりナビゲーション・システムは、選択したルートで目的地までドライバーを案内し、走行中はルート沿いの名所旧跡などに関する追加情報を提供します。

9. 生産： 統合型製造方式により、 最高の品質と柔軟性を確保



- **BMW ライプツィヒ工場から世界に向けて製造**
- **ドア、エンジン・フード、テールゲートの製造工程を併設した新しいプレス工場により、製造拠点を強化**
- **BMW ライプツィヒ工場は、高水準の環境保護と品質保証を実現**

「顧客の希望に合わせた BMW X1 を BMW ライプツィヒ工場で製造することは、自動車生産国ドイツの明確な意思表示と言えます。BMW X モデル・ファミリーの最も新しい仲間も、BMW ライプツィヒ工場における雇用の長期安定化に寄与するでしょう。」

BMW AG 製造担当取締役 フランク・ペーター・アント

全世界に向けた BMW X1 の製造は、BMW ライプツィヒ工場で一貫して行われます。これにより、BMW X モデルが初めて BMW グループの世界的な製造ネットワークに属するドイツ拠点で行われることになります。2005 年に操業を開始した BMW ライプツィヒ工場では、BMW 1 シリーズの 3 ドア・モデル、BMW 1 シリーズ・クーペ、BMW 1 シリーズ・カブリオレ、BMW 3 シリーズ・セダンを製造しています。高度に柔軟な製造・作業構造は、最新の環境基準、高い品質水準と共にこの製造拠点の特徴となっています。

BMW ライプツィヒ工場の敷地内に、今年は新たにドア製造区およびフラップ製造区を併設した新しいプレス工場が開業します。この拡張と並んで、この工場で BMW X1 を製造することは、この拠点の強化に決定的な意味を持つだけでなく、長期的な雇用安定化にも寄与します。

柔軟な構造による理想的な操業条件

BMW ライプツィヒ工場の特徴として、ボディ製造、塗装、組立などの BMW X1 の生産開始のための準備が、操業しながら実施できたことを挙げることができます。このことは、例えば、他に類のない櫛型構造の組立ホールによって可能になりました。この構造のおかげで、櫛部分の建物を自由に延長することができ、少ない費用で製造ステップを追加統合することができます。

これによって BMW X1 も、理想的な条件下でスムーズに生産を開始することができました。BMW ライプツィヒ工場は、ニュー・モデルの生産開始でその高い能力を証明しました。すでにわずか 3 年間で、BMW 1 シリーズの 3 ドア・モデル、BMW 1 シリーズ・クーペ、BMW 1 シリーズ・カブリオレ、BMW 3 シリーズ・セダンをその製造プログラムに組み込んでいましたが、組み込むと同時にそれが極めて優れた品質水準と高い製造効率性を達成しました。

ホワイト・ボディの製造、塗装、組立において、BMW ライプツィヒ工場で生産するすべてのモデルは同じラインで製造しています。BMW X1 のためには、今回初めて四輪駆動用コンポーネントの組立を製造工程に組み込みました。さらに、特に BMW X1 のパノラマ・ガラス・サンルーフは寸法が大きいため、自動ステーションを接続して、同じく製造工程に組み込みました。すでにボディ構造のコンポーネント生産の段階から、さまざまなモデル用の構成部品を独立したフロアで製作しています。生産量を柔軟に調整できるため、市場の需要に合わせて最適に製造することができます

中央ビルディングは建築賞を受賞

BMW ライプツィヒ工場の所在地とインフラは、製造した車両をできる限り鉄道路線で搬送するための理想的な条件を満たしています。鉄道の線路を直接引き込むことで、材料も鉄道で輸送することができます。またアウトバーンと直接接続しているため、鉄道以外の輸送でも、周辺地域の一般道をトラックが走ることはできません。

BMW ライプツィヒ工場はザクセン州ライプツィヒ市北部に位置する工業団地内にあり、総額約 13 億ユーロが投じられています。総敷地面積は 208 ヘクタール、建物の建築面積は約 50 ヘクタールです。

製造施設は、中央にある管理・サービス・コミュニケーション複合棟の周りに配置されています。中央のビルディングは、著名な建築家ザハ・ハディッドの設計になります。この建物は、製造区画と短い通路で結ばれており、出会いとコミュニケーションの空間を提供しています。その個性的なデザインにより、中央ビルは 2005 年にライプツィヒ市の建築賞や有名なドイツ建築賞など、複数の賞を受賞しています。

2005 年 3 月 1 日に BMW 3 シリーズ・セダンの量産が開始され、その他のモデルの製造も、その 2 年後の BMW 1 シリーズの 3 ドア・モデルを皮切りに開始されました。2007 年 9 月からは BMW 1 シリーズ・クーペを、2007 年 12 月からは BMW 1 シリーズ・カブリオレの製造を開始しています。BMW ライプツィヒ工場のフレキシブルな労働時間モデルとシフト・システムのおかげで、現在のところ需要に合わせて最大 1 日 730 台を製造することができます。これは、「BMW 労働方式」によって実現されたもので、この方式によって工場の週当たり稼働時間を 60 時間から 140 時間の間で調整することができます。これによつて短時間で、かつ少ない投資で製造プログラムの変更に対応することができます。

BMW と外部のサプライヤーを合わせて 4,600 人を超える雇用を確保

BMW ライプツィヒ工場は、外部サプライヤーのための供給センターを統合した製造拠点として構想されました。この拠点で製造されるすべてのモデルのための供給部品と仮組み済みコンポーネントが、最短距離で直接製造ラインに送ら

れます。この工場の雇用総数は、現在 4,600 人を超えています。

工場内のロジスティックでは、毎日およそ 1 万立法メートルの材料が移動しています。部品の 80%以上が「ジャスト・イン・タイム」、つまり必要なちょうどその時間に、「ジャスト・イン・シーケンス」、つまり車両別の組立順に従って、供給されます。ホワイト・ボディと塗装済みボディは、専用に設計された全長 600 メートルの搬送区画を、中央ビル内を何度も通って搬送されます。BMW はこのコンセプトにより、管理と製造の分離という伝統的な方式を打ち破りました。このようにして、管理部門の従業員も製造シーンを直接体験できるようになっています。

ドア、エンジン・フード、テールゲートの製造を併設した新しいプレス工場は効率的で環境に優しい製造を推進

間もなく完了する BMW ライプツィヒ工場の拡張により、生産効率はさらに向上し、ロジスティック・プロセスが最適化できます。コンポーネント製造を拡張した新プレス工場には約 1 億ユーロを投じ、これまでそのほとんどを BMW の他の工場から供給を受けていたドア、エンジン・フード、トランク・リッドなどがここで製造されます。輸送作業がなくなることで、製造ラインの環境保護レベルも向上します。また BMW X1 のこれらコンポーネントは、新しく設置される製造設備で生産されます。新しいプレス工場によって、ライプツィヒの既存のボディ製造が有意義に補完され、拠点の雇用数もさらに約 100 人増加します。

BMW ライプツィヒ工場の高い品質基準と環境基準

最新式の製造拠点として、BMW ライプツィヒ工場は特に環境に優しい方法で製造を行っています。塗装工程は水性塗装と環境を汚染しない粉体塗装のみで行います。工場には廃熱利用が組み込まれているため、価値の高いリソースを節約して非常に経済的に製造することができます。

BMW ライプツィヒ工場の製造プロセスで中心的な役割を担うのは、品質検査です。BMW グループ全体と同様、製品とサービスの優れた品質を保証するために高い基準を設けています。工場の構造、技術設備、従業員の技能は、徹底してプレミアム製品の製造を目指しています。